○　現行制度の改善又は拡充を求めるもの

区分	■新　規　　□ 再提案　（　・　・　　第　回総会；　　市）		
種類	■ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの □ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの □ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの □ その他（　　）	分野	□ 総務文教 □ 社会環境 ■ 経済 □ 危機管理建設
要望先	■ 国	担当省庁	農林水産省
	□ 県	担当部局	
	□ その他	名　　称	

件名	**6　鳥獣被害防止総合対策交付金（鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業）における捕獲確認方法の是正について**
提案市	長野市
提案要旨	本年度から全国的に統一された鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業交付金における捕獲個体（ニホンジカ等）の確認方法は、複雑かつ作業負担が増すもので、捕獲意欲の減退が懸念されるため、確認方法の一部是正を要望する。
提案理由	交付金の不正受給が発生し、捕獲確認方法の厳格化が急務であることは理解できるが、本年度から実施される確認方法は、個体へ捕獲日をペイントする、写真に捕獲者と個体を一緒に撮影する等、確認作業が大幅に上乗せされ、捕獲者の負担増となっている。このことについては、猟友会から苦言が多数寄せられ、捕獲意欲の減退が懸念されるため、捕獲確認方法の一部是正を要望するもの。
現況及び課題等	・ニホンジカ等の生息数増加に伴い農業被害は深刻な状況にある。対策として重要な個体数調整は、猟友会の協力により捕獲数が増加し、農業被害額は減少傾向にある。 ・近年、猟友会員数は、農家によるわな猟免許の取得者が増えたことにより、平成22年度358名から平成28年度422名と増加傾向にあるが、会員の平均年齢は66.0歳と高齢化が進み、70代が32.2%を占めており、確認作業の複雑化や負担増に素早く対応することが困難であり、捕獲意欲の減退も懸念される。 ・特に、本市の捕獲現場は急峻な中山間地が多く、足場の悪い捕獲現場にスプレーや標示板など多くの荷物を運搬することは高齢化が進行している猟友会員には負担が大きい。 ・例えば、捕獲した獣の証拠部位を「尾」に全国的に統一し、証拠物は市町村が責任をもって回収することで、捕獲個体へのマーキング作業をなくし、捕獲者の負担軽減を図るなどの是正を検討する必要がある。
関係法令	鳥獣被害防止総合対策交付金実施要綱